

## 2021 年度第 3 回 特定非営利活動法人日本火山学会 理事会 議事録

開催日時および開催場所

2021 年 7 月 21 日 16 時 00 分～17 時 15 分

Zoom によるリモート会議

出席者：青木陽介，石峯康浩，上田英樹，大野希一，奥村 聡，下司信夫，高木朗充，東宮昭彦，千葉達朗，中道治久，西村太志，宮縁育夫，

欠席者： 青山 裕，市原美恵，

### 議案 1 2022 年秋季大会開催計画

2022 年秋季大会について，開催案の公募に対し 1 件の応募があった．大会委員会で検討した結果，静岡大学小山真人氏を LOC 代表とし，2022 年 10 月 27 日（木）～30 日（日），もしくは 11 月 3 日（木）～6 日（日）に静岡県三島市の三島市文化会館を主会場とし，対面およびオンラインのハイブリット形式による秋季大会開催案を理事会に提案し，理事会がこれを承認した．

### 報告事項

#### 1. 2021 年度秋季大会準備状況

2021 年度秋季大会の開催準備状況について，青木大会委員長から報告した．10 月 20 日～22 日に学術講演会を実施する計画で準備中．講演数等の増加を見込んで，運営に業者（創文印刷）を導入する．参加費について一般 5000，学生・シニア 2000 円，非会員 7000 円を予定している．また予稿集冊子を 2000 円で販売予定である．大会収入は参加者の増減に影響を受けるため全体収支の予想は難しいが，年度予算で計上した秋季大会予算内に十分収まる見込みである．

現地討論会について，非会員の参加について議論した．アウトリーチの観点からは非会員も参加できることが望ましいが，参加費を徴収する場合には旅行業法との兼ね合いもあるため検討が必要である．参加者によって，現地討論会の対象や時期・内容などが変わり得るので引き続き検討を進める．

高木各賞選考委員長から，秋季大会時の学生優秀発表審査方法について以下の報告があった．昨年度は初めてのリモートでの開催となったため，審査に対する技術的な不安があり，ポスター発表を審査対象とせず口頭発表のみを対象とした．しかし今年度は，受賞の機会を増やすためにもポスター発表も含めて審査対象としたいが，審査をしやすいようにポスター発表の形式等も含めて検討する必要がある．審査の公平性担保の観点からも，発表形

式について大会委員会・各賞選考委員会で議論して決定し、早めに参加者に周知できるよう検討する。

## 2. ジオパーク学術支援連合の設立総会について

大野ジオパーク支援委員長より、ジオパーク学術支援連合の設立総会について報告があった。参加学協会からの代表者等が参加した学術支援連合設立総会が7月2日に開催され、参加学協会の互選により代表として天野一男氏、副代表として青木賢人氏が選出された。今後、支援連合への参加学協会として、ユネスコ世界ジオパークの認定を目指す地域がある場合に評価者の派遣等を予定している。支援連合と学協会との連携強化、一般普及活動などに共催・後援等により相互連携の強化を行う。JpGUにおけるジオパークセッションへの連合の積極的な関与をすすめる。

## 3. 学校教育委員会

学校教育委員会から「科学技術週間」に関連する「一家に一枚ポスター」の募集企画への対応について報告が行われた。学校教育委員会で申請作業を行い、書類選考を通過したため2次審査のプレゼンテーションを行った。8月上旬に審査結果が通知される。

## 4. 朝日賞・育志賞の候補者募集対応

朝日賞・育志賞等、学協会としての推薦が必要な受賞候補に対する応募があった場合、理事会で審議する必要がある。このような外部表彰に対する推薦などを所掌する委員会が現在存在しないが、そのような作業内容は各賞選考委員会が最も近いと考えられるので、各賞選考委員会で委員会設置規程の修正等により対応を検討する。

## 5. 編集委員会

宮緑編集委員長より解説・紹介の特集として「次世代研究者のための火山学講座」を企画し、66巻3号から順次掲載される予定であることが報告された。本企画は査読付きで、火山コンソーシアム 大学院生向け講義などの内容を講師に執筆してもらっている。幅広い分野での執筆を期待したい。

66巻2号から、引用文献にDoiを付している。PDFファイルではDoiにリンク添付を開始した。活用を促進したい。

Supplementary data fileを置けると便利ではないかとの提案がある。サーバー費用が発生する場合には予算面での検討が必要なので、編集委員会で引き続き検討する。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2021年7月28日

議長 西村太志

議事録署名人 高木朗充 千葉達朗